

ICTを活用した 特別支援教育 の取り組み

足立区総合教育会議



こども支援センターげんき 支援管理課長 門藤 敦良
鹿浜第一小学校 校長 中郡 英一

特別支援教育における ICT 活用計画の策定

令和3年6月に「足立区特別支援教育における ICT 活用計画」策定し、これからの学校における実践に活用していく。

「学習支援」「教師・学校支援」「家庭支援」を3つの柱に掲げ、児童・生徒の個に応じた支援を行っていく。

学習支援

- 個々の学力に応じて ICT を活用
- 発達特性の応じて ICT を活用

このあと
学校の実践
事例を紹介

教師・学校 支援

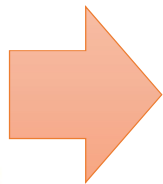
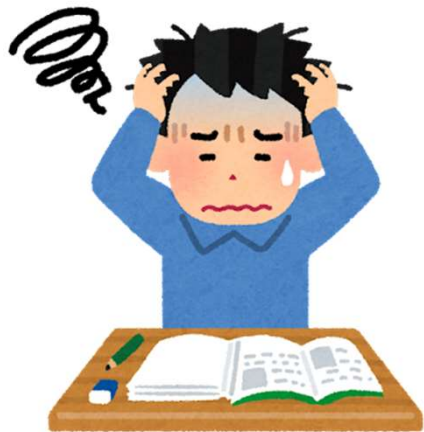
- オンライン相談により、児童・生徒の特性に応じた具体的な指導法について、教師を支援
- 校内研修等にオンラインで参加し、教職員の特別支援教育の理解向上を支援

家庭支援

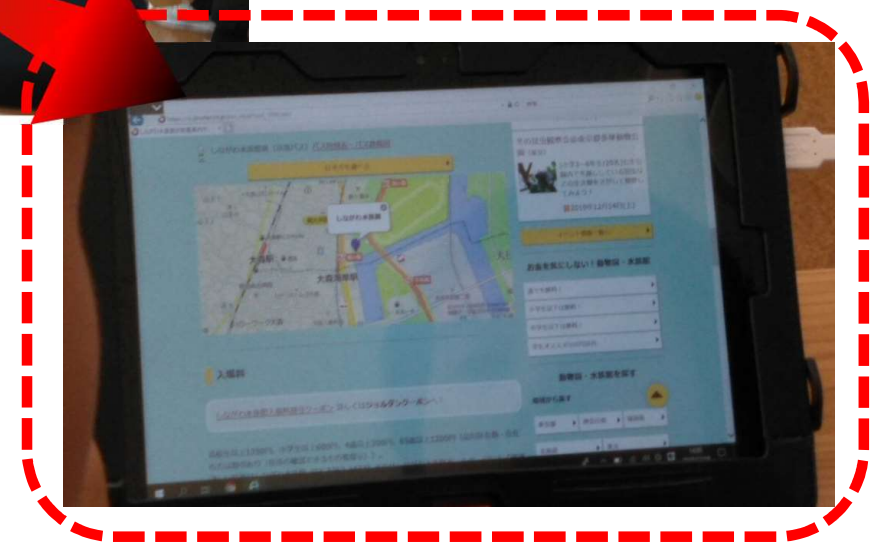
- 動画配信による支援
- オンライン相談による支援

学校におけるICTの取り組み

学習の仕方が
わからない

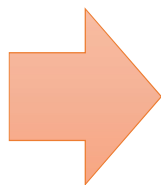


タブレットを活用して
個別学習



学校におけるICTの取り組み

読み・書きが困難



タブレットの活用で困り感を
軽減



学校におけるICTの取り組み



特別支援学級・特別支援教室の実践

その他、各小・中学校の特別支援学級・特別支援教室において、ＩＣＴを活用した実践が行われている、その一部を紹介します。

- 特別支援教室（情緒・発達障がい） 自立活動
- 特別支援学級（知的障がい固定学級） 体育・技術

動画をご覧ください

特別支援教育における ICT 活用の今後の課題

①

教員のスキル向上

②

教員の負担軽減

③

環境の整備